

参考資料

下水処理水のバラスト水活用検討会 ～貨物船のバラスト水を活用した下水処理水の海外展開



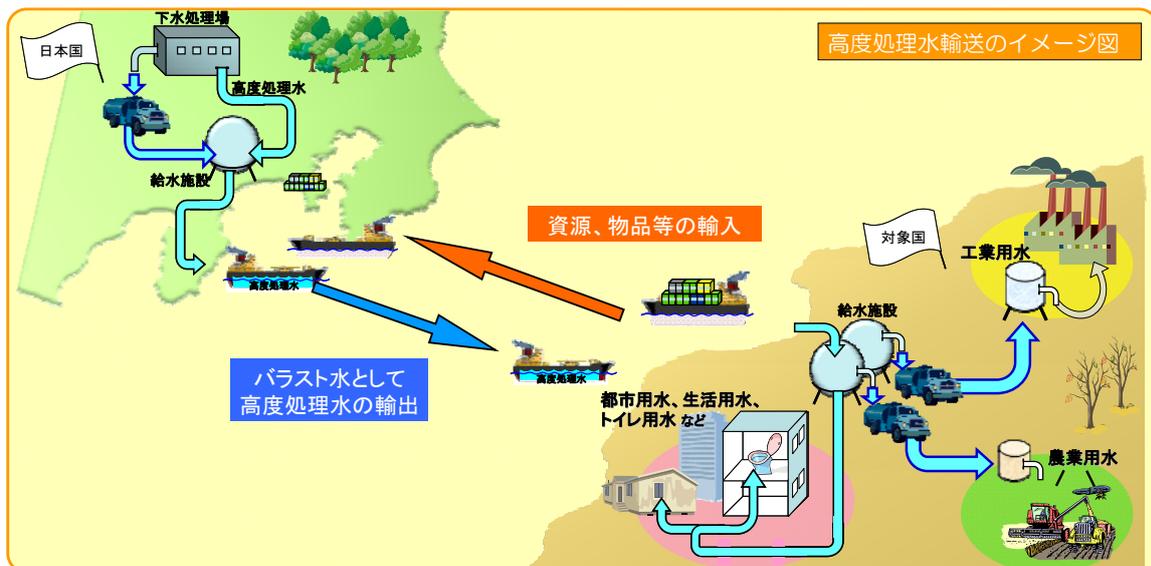
1. 背景

近年の地球温暖化に伴う気候変動の影響等により世界の水需要の更なる逼迫が予想されている。一方で、わが国では、下水道の高度処理化により水質の良好な下水処理水が発生している。これらの下水処理水を逼迫する諸外国の水需要に充てることにより、地球規模での温暖化問題への対策やわが国の下水道資源の有効活用を図ることが可能になると想定される。

そのため、海外を対象としたわが国の下水処理水の利活用方策として、貨物船のバラスト水を活用した下水処理水の海外展開を検討するものである。

2. 検討内容

- ① 海外における高度な下水処理水のニーズの把握
- ② 高度な下水処理水の海外輸送にあたっての課題抽出
- ③ 海外における下水処理水の利活用の可能性検討



3. 検討体制

国土交通省下水道部と下水道グローバルセンター(GCUS)が中心となり、関係機関と連携して検討を実施。なお、事務局は、業務受託先である株式会社野村総合研究所が共同で務める。